

## はじめに

本書は、2016年度から2019年度まで4年間の男女共同参画推進に向けた活動報告を収録したものです。この4年間、土山和久教授を部会長として、多様な男女共同参画に関わる推進事業に取り組んだ結果を整理しました。

本学の男女共同参画推進活動は、2010年1月男女共同参画推進担当学長補佐の配置に端を発し、同年6月には男女共同参画推進会議が発足され、続く7月には、男女共同参画推進会議企画専門部会が設置されました。この10年余の間、ジェンダー平等の視点に基づく男女共同参画を推進するための指針を定め、その推進を目指した計画に基づいて様々な事業を実施してまいりました。

加えて、2017年度からは、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）事業（代表機関：大阪市立大学）に和歌山大学、積水ハウス株式会社とともに共同実施機関として参画しております。その結果として、教員養成系単科大学である本学固有の課題の解決とともに、総合大学や企業と連携・協働することによって解決できる課題に対しても、取り組むことができました。今後も、さらに連携事業の特色である共同研究や産官学連携事業を通じて女性研究者間の新たなネットワークの形成を促進する所存です。本報告書の後半に、関連事業の活動につきましても掲載しておりますのでご高覧下さい。

4年間の取り組みに対して、大阪府府民文化部 男女参画・府民協働課 課長の川口雅子様、京都教育大学監事の朴木佳緒留様に外部評価を受けました。お二人からは、本学の5つの行動計画に対して、率直かつ具体的な評価コメントをいただきました。それらは、今後本学が向かうべきゴールであり、解決すべき課題でもあります。外部評価委員をお引き受けいただきましたお二人には、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

2021年3月

国立大学法人大阪教育大学

男女共同参画推進会議企画専門部会

部会長 鈴木 真由子